

事業シート（概要説明書）						
仕分対象事業名（個別事業名）		高齢者割引乗車証等購入費補助金				
中事業名		社会参加・生きがい対策事業	担当部・課名	健康福祉部高齢者いきいき課		
総合計画上の位置付け（分野名）		健康福祉	担当名	いきいき福祉担当		
事業開始年度	平成15年度	根拠法令	鎌倉市高齢者割引乗車証等購入費助成要綱			
実施方法	直接実施					
	業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者： ）					
	補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体： ）					
	貸付（貸付先： ） その他（ ）					
事業概要	目的 （何のために）	市内のバス・鉄道事業者等が販売している高齢者用割引乗車証などの購入費の一部を助成することにより、高齢者の外出を支援し、引きこもりを防止することを目的とする。				
	対象 （誰・何を対象に）	当該年5月1日現在、75歳以上の市民				
	事業内容 （手段、手法など）	江ノ電バス・京浜急行バス・神奈川中央交通の各社が販売する高齢者バス割引乗車証、バス回数券、及び江ノ島電鉄・湘南モノレールが販売する高齢者用割引回数券を購入する際、年に1回一人につき2,000円を助成する。 対象者には、5月末日までに助成券を郵便で発送。利用者は助成券と身分証明（保険証等）等を持参して各事業者の販売所で乗車証等を購入する。助成券を利用することによって、定価から2,000円引きとなる。 各事業者から使用された助成券及び報告書・請求書が市に提出され、市は内容を確認後、割り引きした差額（助成額）を直接事業者に支払う。				
事業の必要性	高齢者の引きこもり防止、社会参加の促進のためには、外出目的の創出と同時に、外出にかかる負担の軽減も必要であり、今後も事業の継続が必要である。					
コスト	平成22年度		人件費内訳		従事職員数	
	事業費	21,856 千円	}	職員構成		平均人件費 ×従事職員数
	人件費	3,192 千円		担当正職員		2,777 千円
総計	25,048 千円	臨時職員他		415 千円	0.3 人	
事業費 （財源内訳・単位千円）	年度	総額	補助対象事業の全体経費に対する 市の負担（支出）割合	平成22年度予算の財源内訳		
	H19(決算)	15,018	-	国補助金	0	
	H20(決算)	17,080	-	県補助金	0	
	H21(決算見込)	18,938	-	起債	0	
	H22(予算)	21,856	-	一般財源	21,856	
平成22年度 事業費内訳	消耗品費 70千円 印刷製本費 205千円 補助金 20,496千円 郵便料 1,085千円					

<b>活動実績</b>	<b>【活動指標名】 / 年度実績・評価</b>	<b>単位</b>	<b>H19年度</b>	<b>H20年度</b>	<b>H21年度</b>
	対象人数	人	20,600	21,260	22,197
	利用人数	人	6,908	7,931	8,833
<b>単位当たりコスト</b> (事業費/活動指標)	事業費 / 利用人数	円	2,174	2,154	2,144
<b>成果目標</b> (現状の成果及び今後どのようにしたいか、定量的な評価で示す)	平成15年度にバス会社3社の高齢者用割引バス乗車証を対象にして事業を開始して以来、江ノ島電鉄、湘南モノレールも契約先に追加、また利用サービスを増やすなど利用者の利便性の向上を図り、利用率も当初の約11%から40%まで上昇してきた。今後もさまざまな工夫と検証を行いながら、利用率の上昇(目標45%)と事業の充実を図りたい。				
<b>成果実績</b> (成果指標の目標達成状況等)	<b>【成果指標名】 / 年度実績・評価</b>	<b>単位</b>	<b>H19年度</b>	<b>H20年度</b>	<b>H21年度</b>
	利用率(利用人数/対象人数)	%	34	37	40
<b>事業の自己評価</b> (今後の事業の方向性、課題等)	<p>補助対象年齢の引き下げや助成額増加など要望の声が多く寄せられている事業であり、市民の関心も高い。</p> <p>今回、平成21年度末でバス事業者がバス共通カードを廃止し、また湘南モノレールが平成22年度で割引回数券の販売の取りやめを決定するなど、市民に提供する新たなサービスを各事業者と協議する必要が生じている。</p> <p>また、事業の内容から事業費は増加する一方であることは明白であり、財政面でどのように折り合いをつけていくかも検討課題である。</p>				
<b>比較参考値</b> (他自治体での類似事業の例など)	<p>厚木市・・・高齢者バス割引乗車券(かなちゃん手形)購入費助成          神奈川中央交通の高齢者バス割引乗車券(かなちゃん手形)の1年券(7月～翌年6月有効。9,000円)を購入する際に7,000円を助成。(70歳以上対象)          受付は6月21日から8月31日まで。          H21実績・・・対象者23,121人、利用者8,752人、利用率37.8%、補助金61,264千円</p>				
<b>特記事項</b> (事業の沿革等)	<p>事業開始から7年が経過し、助成券を対象者全員に通知していることから、市民にも周知の度合いが高い。</p> <p>事業者のサービスを市民が利用する際に助成する方式であり、事業者に協力をお願いしながら事業を行っている。</p> <p>利用率も上がってきており、利用者の要望も強い。今後も事業を継続していくことが必要である。</p>				